

ゆのひらんプロジェクト 地域計画書

# CONCEPT BOOK



はじめに（コンセプトブック策定にあたって）

---

**Introduction**

## 「ゆのひらんプロジェクト(湯平まちづくり協議会)」のコンセプト

# 「湯平暮らしの再編集」

湯平「1区」「2区」「3区」と特色ある地域性を活かしつつ、湯平地域の情報を共有することで、湯平の暮らしの向上と既存組織の課題を調整し、そこから新たな取り組みが生まれていくこと。

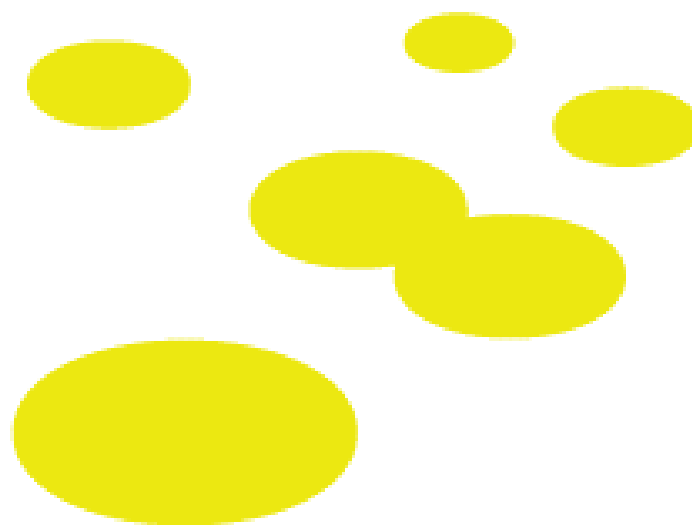


## 湯平暮らしの再編集 ログに込めた思い

散らばったさまざまな価値を再編集し、ひとつのまとまりへ。また、そこに暮らす人々が集い議論を重ねあわせ、一丸となれるように。

敷き並べられた石畳をシンボライズした楕円は、そこにもくもくとした湯けむりのイメージも重ねることで、親しみや優しさをマークに込めた。

元気の出るビタミンカラーを使用。



1

# 湯平区の現状

---

analytics

# 湯平区の現状と課題

### 福祉・生活・交通

- ・買い物・病院に行く際に車が必要
- ・地域内に買い物できる場所がない
- ・地域の中で集まれるところがない

### 防災・安全

- ・空き地、空き家が多い
- ・高齢者の大雨や台風時の避難が課題
- ・緊急時の連絡体制が課題

### 住民

- ・子どもの声が聞こえなくなった
- ・高齢者と若者との交流がなくなった
- ・住民が湯平に興味がない

### にぎわい

- ・気軽に集まれる場所がない（食）
- ・なんとなく汚れている気がする

### 地域運営

- ・人口の割に組織が多く、  
高齢化と人口減で人手が不足している
- ・地域の活動が続けられなくなった

### 共同浴場

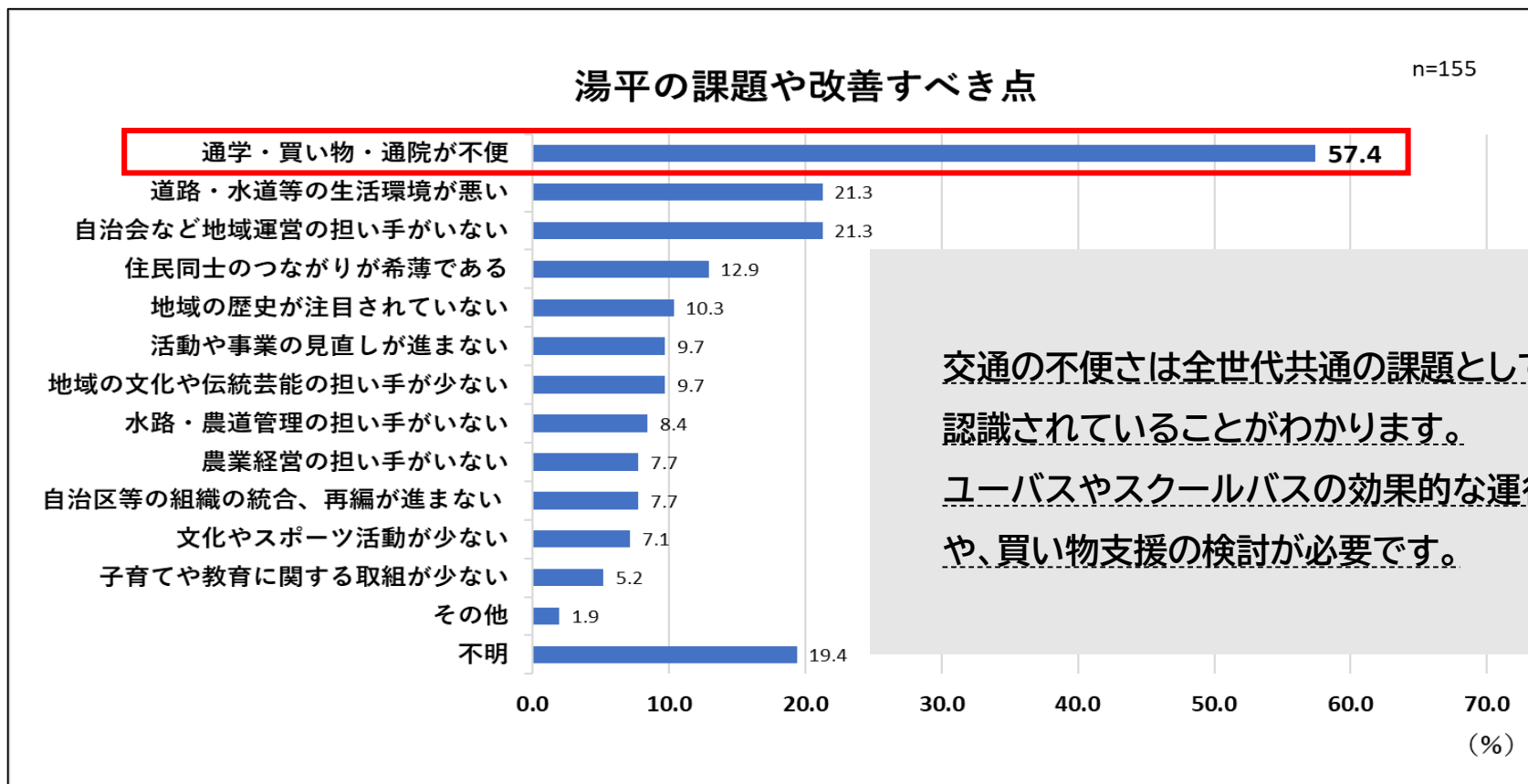
- ・共同浴場での交流がなくなった
- ・共同浴場がないことには  
湯平の発展につながらないと思う



## 設立準備会での意見出し



## 湯平地区住民アンケート結果より

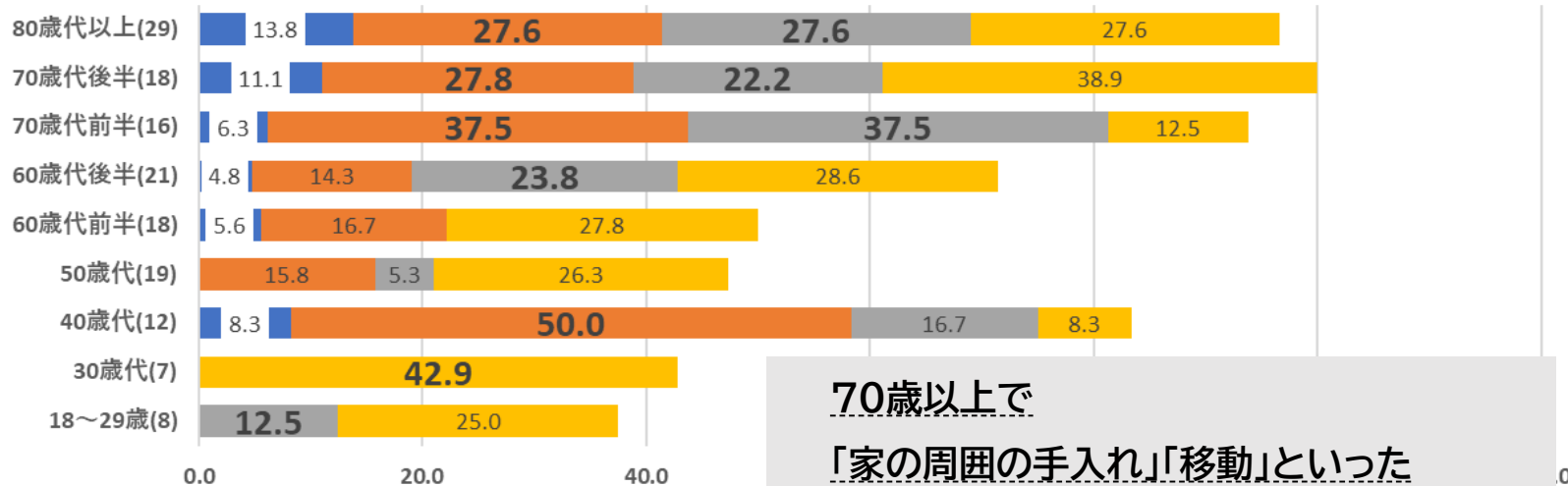




# 湯平区の暮らしのなかの困りごと（アンケート結果より）

### 暮らしの中で困っていること（複数回答）

- 家の中の掃除や手入れ(電球の交換、大きなものを動かす等)
- 家の周囲の掃除や手入れ（家の周りの草刈り等）
- 移動について(移動手段がなくて買い物に行けない等)
- 困っていることは特にない

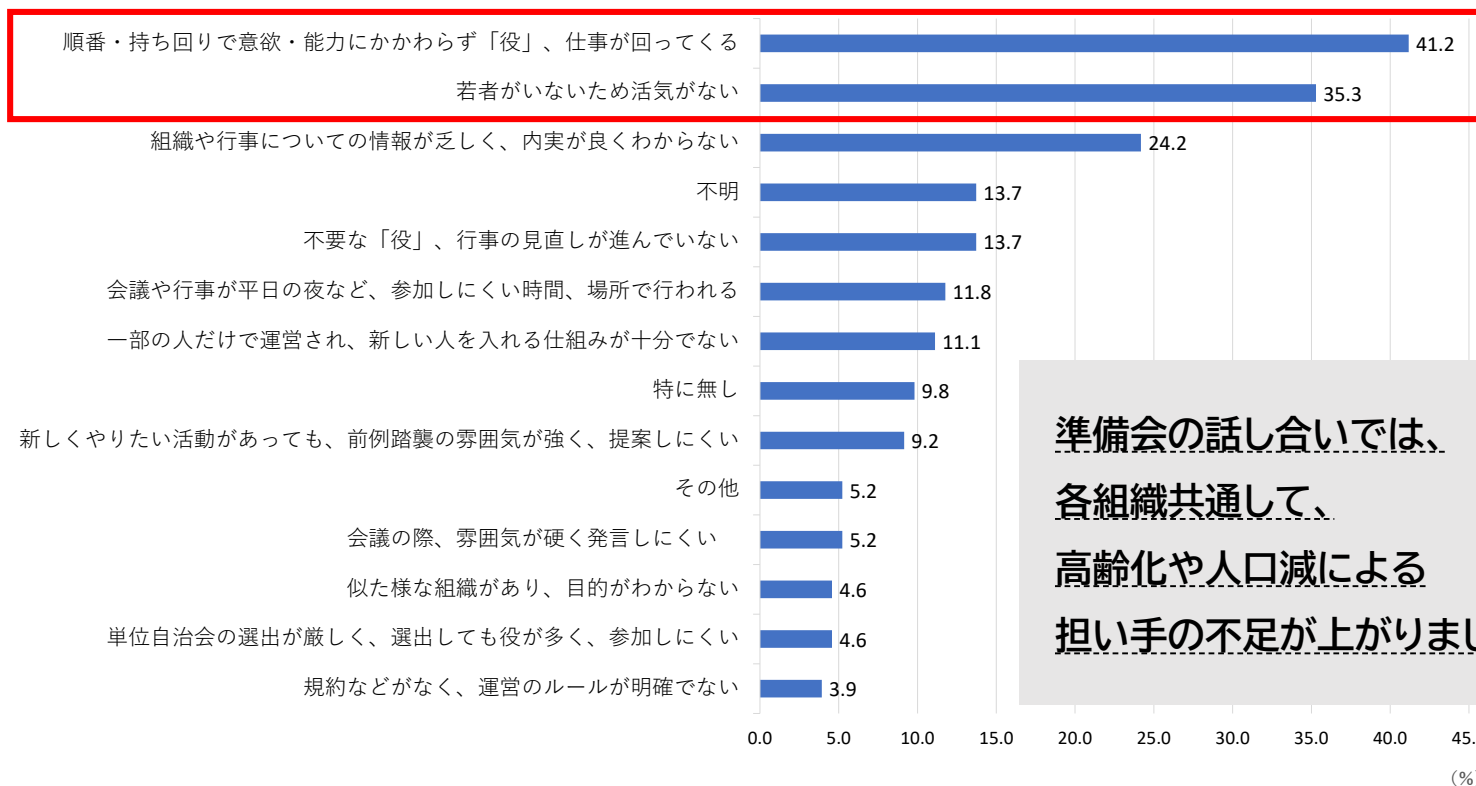


70歳以上で  
「家の周囲の手入れ」「移動」といった  
困りごとが増えている  
ことがわかりました。



# 湯平区の組織運営の課題（アンケート結果より）

組織・団体の運営上の課題



準備会の話し合いでは、  
各組織共通して、  
高齢化や人口減による  
担い手の不足が上がりました。



# 2

## ゆのひらんプロジェクトのめざす姿

---

vision / concept

## 湯平の暮らし方を再編集する

自分たちで、自分たちの地域を良くしていこう、  
と活動するのがゆのひらんプロジェクトです。

ゆのひらんプロジェクトは、  
全地区住民が会員です。

湯平の人々が求めていることを共有する場を作っていきます。

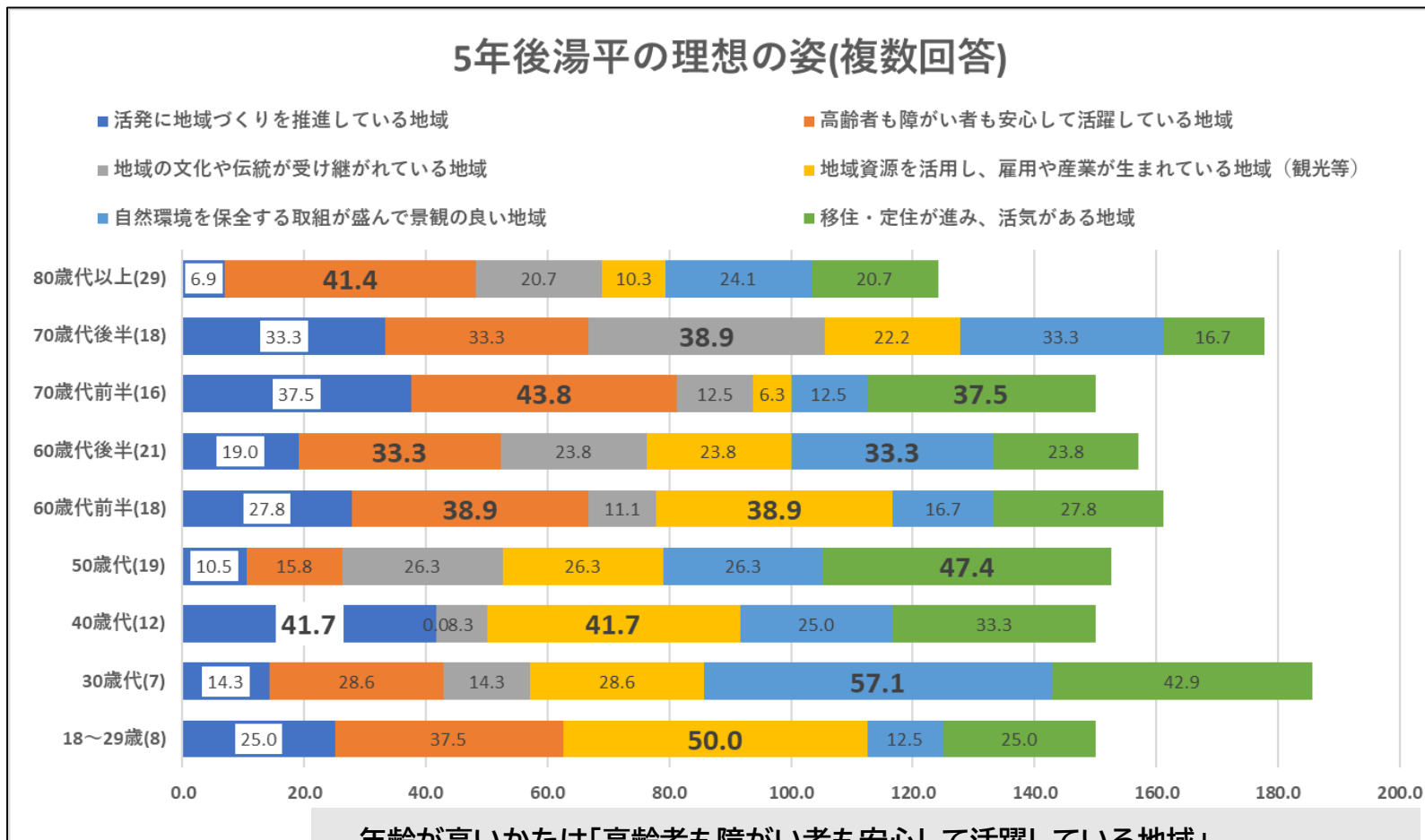
困りごとや希望や夢を共有して見えてきたことを  
地域みんなが主体となって活動し、  
解決や実現に向けて行動します。

ゆのひらんプロジェクトが目指す湯平のすがた

- ▶湯平区250人全員が湯平の情報を知っている地区になろう。
- ▶生活の小さな困りごとを解決し、安心して暮らせる地域にしよう。



## ゆのひらんプロジェクトのめざす姿（アンケート結果より）



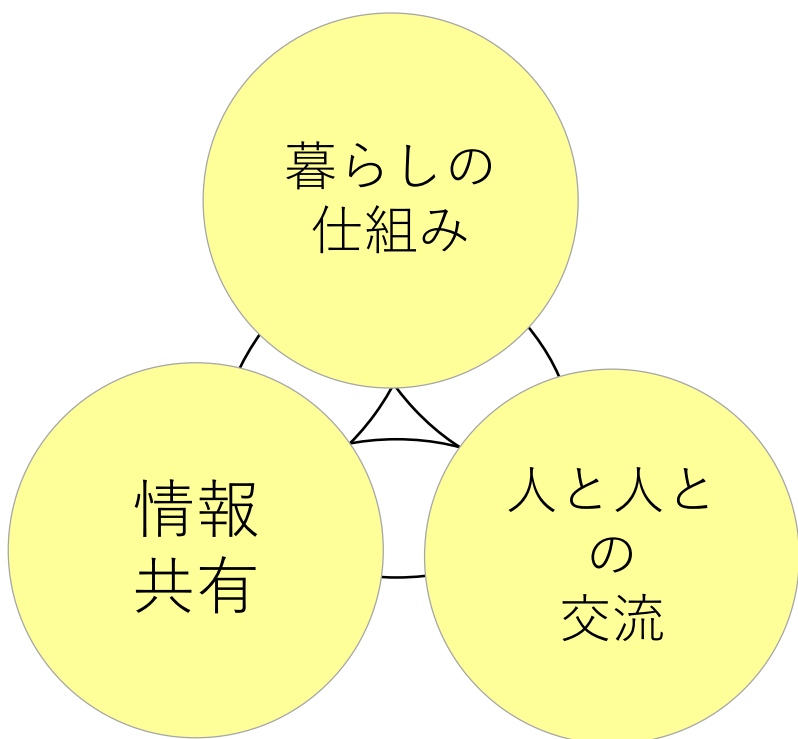
年齢が高いかたは「高齢者も障がい者も安心して活躍している地域」

若いかたは「地域資源を活用し雇用や産業が生まれている地域」

多くの年代で共通していたのは、「移住・定住」「自然環境の保全」となっています。



# ゆのひらんプロジェクトは次の3つの柱で活動します



### 暮らしの仕組み

湯平1区、2区、3区に住む住民の小さな困りごとを拾い上げてお互いに解決できる仕組みをつくり、安心して暮らせる湯平をつくる。**移動支援・買い物支援や、防犯・防災対策、耕作放棄地の対策などの課題に対しても、皆で協力し、湯平での暮らしをより良くする仕組みをつくる。**

### 人と人との交流

湯平の住民同士の顔が見える交流企画を考えます。大掃除大会や湯平の伝統的なお祭りを続けていくために、**地域全体で協力し合う仕組みをつくる。**湯平に来る観光客や、湯平出身の人たち、湯平に移住したいと考えている人たちをつなぐ場をつくる。

### 情報共有

湯平にはたくさんの組織があり、それぞれの目的に沿って活動を行っている。そのため、**各組織間の情報連携がスムーズにできる仕組みを考える。**湯平区民約250人全員がゆのひらんプロジェクトの参加メンバーです。一人ひとりが湯平のことをよく知り安心して暮らせるまちをつくる。



# 3 具体的な活動／事業計画

---

contents

## 暮らしの仕組みづくり

小さな困りごとを拾い上げて安心して暮らせる湯平の仕組みを作ります。

みんなが相談できる、相談しやすい湯平の窓口をつくり、

小さく、着実につながりの輪を作ります。

湯平暮らしの困りごとには、日頃の移動や買い物、耕作放棄地の整備や、景観の整備、防災活動、様々な課題を一つずつ解決できる人の輪をつくります。



写真（左）移動店舗販売／広川町 ([town.hirokawa.fukuoka.jp](http://town.hirokawa.fukuoka.jp))





## 暮らしの仕組みづくり

## 生活の困りごと支援（困りごと相談窓口）



湯平の人々が安心して住み続けられるためにも、生活の困りごとを拾い上げ、支援できる体制を作る。

地域の困りごとに応じて、プロジェクトチームを立ち上げ困りごと解決を行う。

## 防災研究



河川の有効活用。赤提灯や街灯の電気代の負担軽減につなげる。夜間停電時に、安全な避難経路の確保につなげる。

定期的に勉強会を行い、小水力発電等の知識を高める。

実施方法や施工箇所について専門家に依頼、調査、検討を行う。

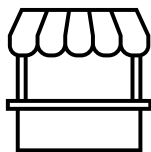
## 移動買い物支援



運転免許返納後や足の不自由な高齢者の移動や買い物の問題を支援。

ユーバスやイオン九州との連携を図る。

## 浪漫ある特産品づくり



協議会自立のための自主財源の確保、地域資源の有効活用、地域のPRにもつなげる。

実施方法や施工箇所について調査、検討を行う。



## 人と人との交流

湯平地区が大事にしている地域の宝物  
「自然」「石畳の風景」「共同温泉」「伝統の祭り」などの  
清掃活動を定期的に行い、  
子どもたちから高齢者まで誰もが参加できる、顔の見える交流を行います。



## 人と人との交流

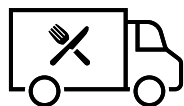
### クリーン作戦



住民のまちづくりへの参画意識を高めるとともに、外からの集客に向け環境整備を行う。R4年度では、石畳（嬉し乃～上柳屋、見晴らし通り、白雲荘前石段）、共同浴場（金・銀・中・橋本の湯）、ふれあいホール、湯平駅の清掃を実施。

※石畳マルシェと同日に開催。

### 石畳マルシェ



湯平住民に向けて地域内での世代を問わない交流と、地域外へ発信し幅広く周知・交流できるよう開催。軽トラ市、キッチンカー、その他販売などを実施。

※クリーン作戦と同日に開催。

### 湯平里帰りプロジェクト



湯平出身で現在は地域外に住む方々から寄付を募り、お便りなどによって地域の現在の様子を発信する事で、湯平を応援してもらい、湯平に戻ってくるきっかけ作りとする。自主財源の確保にもつながる。寄付の一部で植栽活動を行い、地域交流の促進を図る。

### 平日に人が寄れる場所づくり



ふれあいホール等を利用し、住民が気軽に寄れる場づくり。困りごと支援や高齢者の見守り等も兼ねる。協力者を募る。

### R6年度以降考えられる重点プロジェクト

○湯平ウォーク ○歴史デジタルアーカイブ



## 情報共有

ゆのひらんプロジェクトを構成する  
各組織の代表間の情報共有の場を作ることで、  
地域の困りごとや将来のビジョンを共有します。

情報共有

湯平区

観光協会

旅館組合

女将の会

谷川神社総代会

消防団

老人クラブ

子供会育成会

農民研修センター

温泉管理組合

民生委員

湯平区民有志

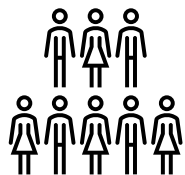
## 情報共有

### 暮らしの編集局会議



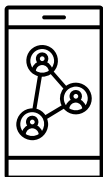
各プロジェクトの進捗状況の報告や情報共有の場とする。  
月に1~2回程度開催。

### 代表者委員会



各団体より情報共有、イベント等のお知らせ、協力者を募る場とする。  
有志者の参加も可能。できるだけ全団体が参加しやすい日程の設定を行う。  
年に4~6回程度開催。

### 住民の情報共有デジタル強化



まち協からののお知らせや緊急時等の連絡ツールの整備。随時行う。

### プロジェクトチーム会合



各プロジェクトチームにて事業を進める。随時行う。



# これまでのワークショップで出た湯平のみんながしたいこと

## 観光・イベント・賑い

- ・ 温泉祭りやソーメン流し、運動会等イベントの復活
- ・ 歴史をまとめる、史跡マップを作る

### (街歩きマップなど)

- ・ 魅力あるイベントブースの設置
- ・ 石畳をゆっくり歩いて楽しめる仕組み
- ・ 空き地や空家などを作って町全体がアートに出会える仕組みに
- ・ 花合野川の魅力など、湯平そのものを生かしたい

## 防災・安全

- ・ 細かい災害想定と避難場所のリストアップ
- ・ 自主防災や防災訓練を定期的実施
- ・ 街灯の設置や提灯の増設など地域を明るくして

## 景観も防犯も高める

## 福祉・生活・交通

- ・ 行政サービスの委託の再開（買い物バス等）
- ・ 大人や子どもも年代を超えて気軽に集まれて、遊べる場がほしい

## 共同浴場

- ・ 共同浴場を復活させ、いつでもゆっくり温泉に入れる生活をしたい

### 地域の交流の場

- ・ 温泉は絶対に残したい、生活の一部

## 運営

### 年代を超えた組織づくり

- ・ 人が細く長く来続ける仕組みで、会議に人がたくさん来てほしい

### みんなが協力しあう運営がしたい

## 人

### 地域内で助け合い、外部との協力もしていきたい

- ・ おためし移住できる場所作りで空家を活用
- ・ 子どもたちが安心して遊べる
- ・ 観光、農業みんな交えて取り組みたい



4

# 組織体制

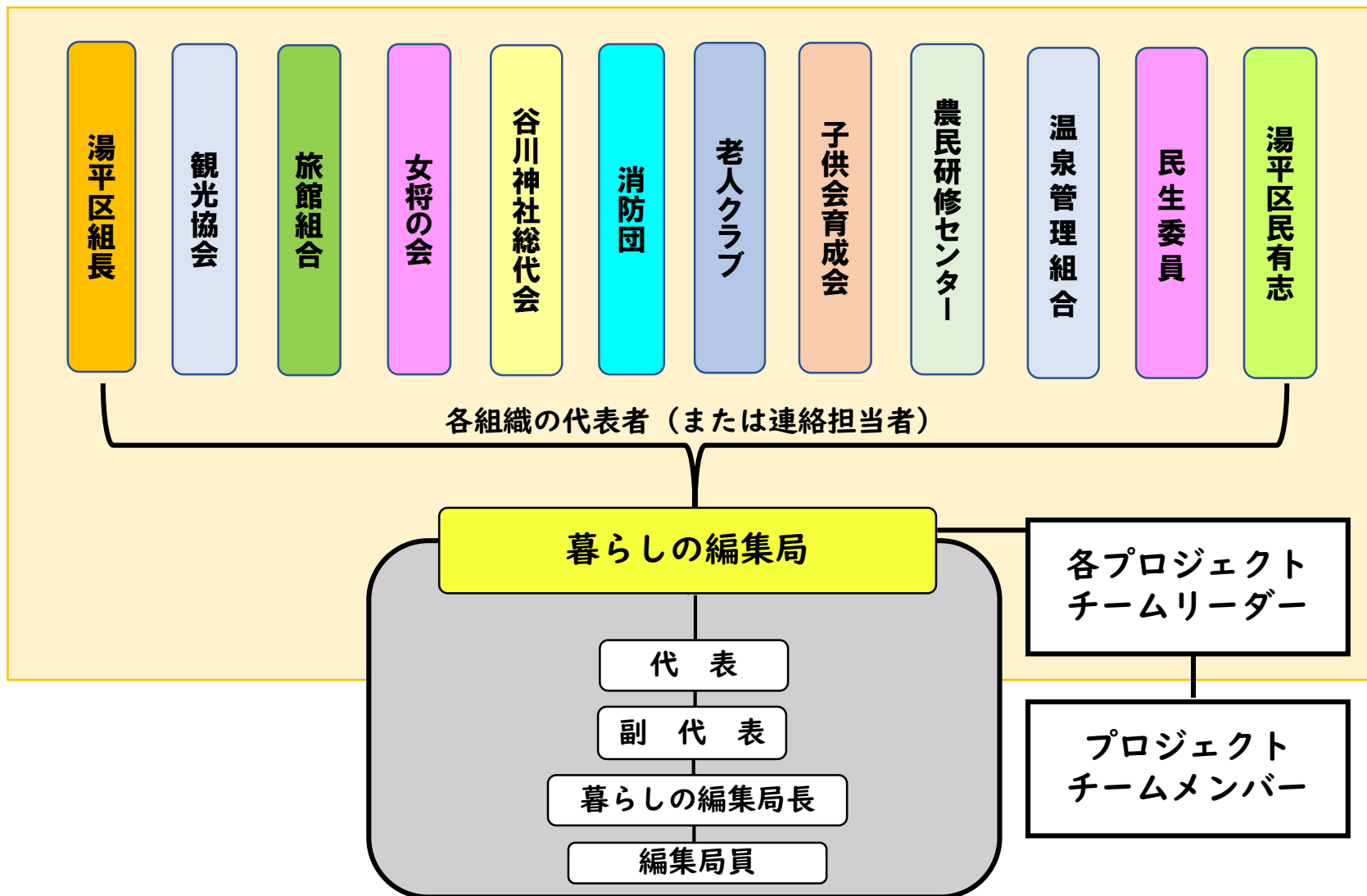
---

operation



# 組織体制

## 代表者委員会

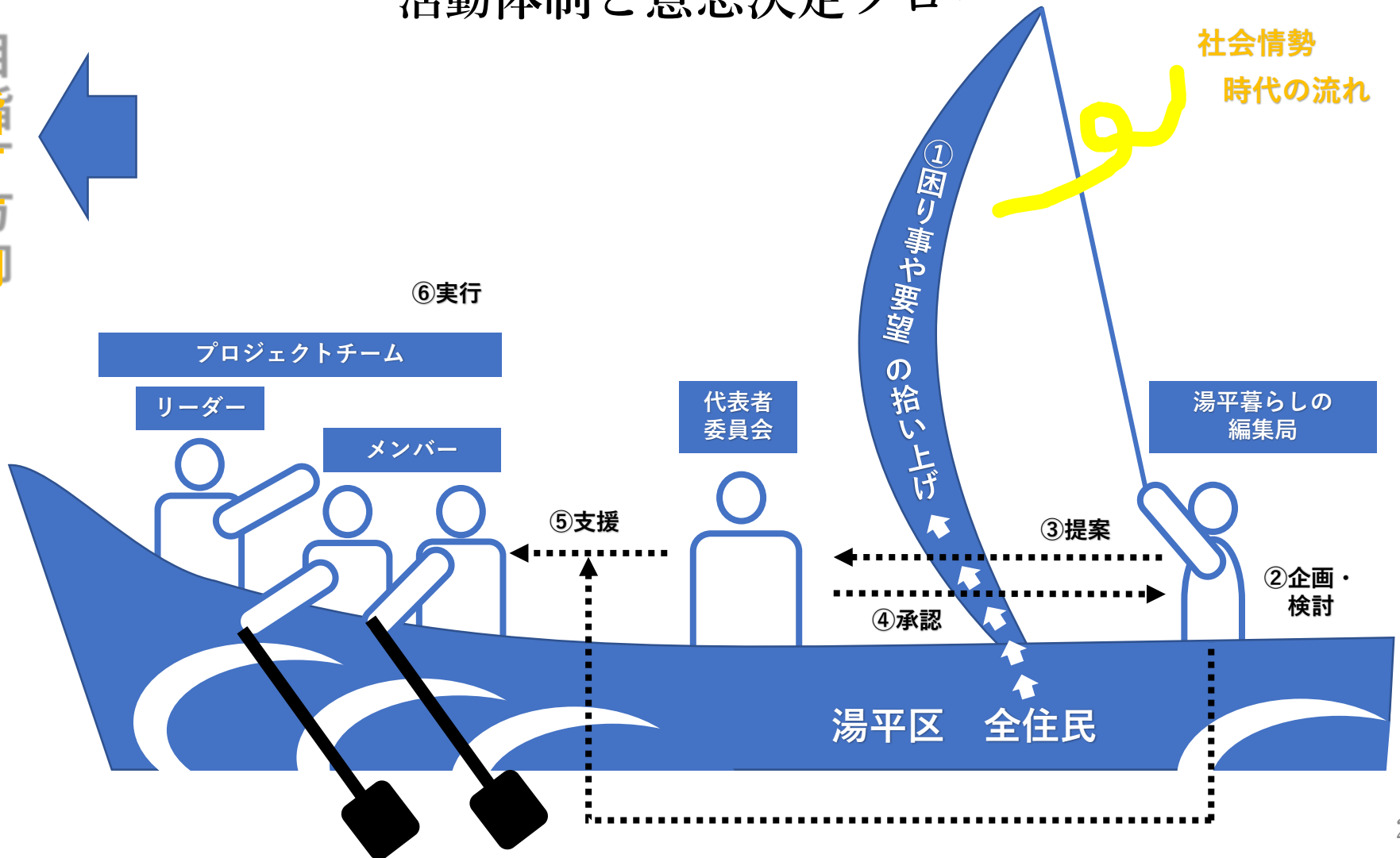




# 活動体制と意思決定フロー

目指す方向

社会情勢  
時代の流れ



# 組織体制

ゆのひらんプロジェクトは、  
全地区住民が会員です。

## 意思決定フロー

